

事業所名

こもれび

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

2026 年

3 月

11 日

法人（事業所）理念		ご縁を頂いたご家族やお子さんと、毎日の些細な努力の積み重ねが、大きな自信となるよう一緒に歩んでいきます。							
支援方針		お子さまの成育歴や特性を理解し、各ご家庭の状況を把握した上で、お子さまと保護者の必要とされている支援を、保護者と一緒に考えます。 毎日、個別療育で集団療育を行い、5領域に基づいた支援を多角的に提供します。 ご家族や関係機関との情報共有・連携を行い、お子さまに最適な支援と環境を提供できるよう、見直しをします。 職員間のコミュニケーションを大切にし、まずは職員どうしが仲良くすることで、お子さまに居心地の良い場を提供できるようにします。 定期的に研修をし、職員の知識とスキルの向上を目指します。							
営業時間			12 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	健康状態を把握します。到着時に顔や体に、発疹、ケガや傷がないか、顔色や表情を確認し、必要に応じて検温します。利用中も観察を行い、体調と心身の変化の把握に努めます。 生活リズムや生活習慣の習得を支援します。活動の節目や定時のトイレトレーニングやトイレ介助等を行います。 他児とおやつや食事の時間の共有しながら、好き嫌いを少しでも減らし、食事マナーを習得できるよう支援します。 身辺自立や身支度等、自分で出来ることを増やしていけるよう支援します。							
	運動・感覚	ラジオ体操や身体を動かす集団プログラム（縄跳び、トランポリン、ユニバーサルスポーツ等）を通して、姿勢や運動、動作等の基本的技能の向上を支援します。 目と手の協応、手先の巧緻性強化のため、指先や手を使える自立課題（ボタン・スナップ・チャックや洗濯ばさみの留め外し）の取り組みをします。また、集団プログラムの工作の中で、指先を使った細かい作業を行います。							
	認知・行動	季節感が味わえるような行事や絵本の読み聞かせ、おやつ作りのプログラムを実施しています。 認知の発達と行動が習得できるように支援しています。1日の流れを視覚支援を活用しながら言語で説明する、活動の節目を音楽やタイマーを用いて知らせる等し、自発的に次の行動に移せるようしています。							
	言語 コミュニケーション	コミュニケーションの基礎的能力の向上を支援します。幼児期には、たくさんの絵本の読み聞かせや言葉かけ、歌を通して、言語のインプットを強化していきます。 朝・帰りの会、食事前後の挨拶当番の役割を通して、人前で自分を表現し発表する機会を設けています。 職員と繰返し言葉でのやり取りをしながら、コミュニケーションの楽しさを知り、発語を促していきます。							
	人間関係 社会性	小集団での仲間との関わりを通して、ルールの理解や適切な振舞い、人との距離感を学べるよう、SSTプログラムを通して支援していきます。 お友達や職員との関わりを通して、人間関係の構築を支援します。継続的に関わることで、信頼関係を持ち、安心した場で、自分の意思を適切に伝えられるよう支援していきます。 集団活動を通じて、仲間と協力し1つのことを一緒に成し遂げる喜びや一体感を得られように支援します。 外出や外食行事を通して、公共の場での社会的マナーを習得できるようにしています。							
家族支援		モニタリング面談の後、ご希望者には引き続き相談援助を行います。 随時、日常のお困り事のご相談をオンラインでお受けし、保護者と一緒にタイムリーに解決できるようにしています。 同じ学校に通われている保護者同士、似た障害特性を持つお子さんをお持ちの保護者同士の交流の場、先輩保護者との交流の場を提供し、先を見通した育児や支援が出来るようにしています。				移行支援		保育園や幼稚園との情報共有や連携をしています。	
地域支援・地域連携		相談事業所との情報共有や連携をしています。 地域のお店、公園や児童館でのイベントに出かけ、地域の方々との交流の機会を大切にしています。				職員の質の向上		虐待防止、感染症予防等、定期的な社内研修を実施しています。	
主な行事等		個別プログラム、集団プログラム、季節に合わせた行事 保護者会、個別のペアレントトレーニングを実施							

事業所名

こもれび

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

2026 年

3 月

11 日

法人（事業所）理念		ご縁を頂いたご家族やお子さんと、毎日の些細な努力の積み重ねが、大きな自信となるよう一緒に歩んでいきます。						
支援方針		お子さまの成育歴や特性を理解し、各ご家庭の状況を把握した上で、お子さまと保護者の必要とされている支援を、保護者と一緒に考えます。 毎日、個別療育で集団療育を行い、5領域に基づいた支援を多角的に提供します。 ご家族や関係機関との情報共有・連携を行い、お子さまに最適な支援と環境を提供できるよう、見直しをします。 職員間のコミュニケーションを大切にし、まずは職員どうしが仲良くすることで、お子さまに居心地の良い場を提供できるようにします。 定期的に研修をし、職員の知識とスキルの向上を目指します。						
営業時間			14 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	健康状態を把握します。到着時に顔や体に、発疹、ケガや傷がないか、顔色や表情を確認し、必要に応じて検温します。利用中も観察を行い、体調と心身の変化の把握に努めます。 生活リズムや生活習慣の習得を支援します。活動の節目や定時のトイレトレーニングやトイレ介助等を行います。 他児とおやつや食事の時間の共有しながら、好き嫌いを少しでも減らし、食事マナーを習得できるよう支援します。 身辺自立や身支度等、自分で出来ることを増やしていけるよう支援します。						
	運動・感覚	ラジオ体操や身体を動かす集団プログラム（縄跳び、トランポリン、ユニバーサルスポーツ等）を通して、姿勢や運動、動作等の基本的技能の向上を支援します。 目と手の協応、手先の巧緻性強化のため、指先や手を使える自立課題（ボタン・スナップ・チャックや洗濯ばさみの留め外し）の取組みをします。また、集団プログラムの工作の中で、指先を使った細かい作業を行います。						
	認知・行動	季節感が味わえるような行事や絵本の読み聞かせ、おやつ作りのプログラムを実施しています。 認知の発達と行動が習得できるように支援しています。1日の流れを視覚支援を活用しながら言語で説明する、活動の節目を音楽やタイマーを用いて知らせる等し、自発的に次の行動に移せるようしています。						
	言語 コミュニケーション	コミュニケーションの基礎的能力の向上を支援します。幼児期には、たくさんの絵本の読み聞かせや言葉かけ、歌を通して、言語のインプットを強化していきます。 朝・帰りの会、食事前後の挨拶当番の役割を通して、人前で自分を表現し発表する機会を設けています。 職員と繰返し言葉でのやり取りをしながら、コミュニケーションの楽しさを知り、発語を促していきます。						
	人間関係 社会性	小集団での仲間との関わりを通して、ルールの理解や適切な振舞い、人との距離感を学べるよう、SSTプログラムを通して支援していきます。 お友達や職員との関わりを通して、人間関係の構築を支援します。継続的に関わることで、信頼関係を持ち、安心した場で、自分の意思を適切に伝えられるよう支援していきます。 集団活動を通じて、仲間と協力し1つのことを一緒に成し遂げる喜びや一体感を得られように支援します。 外出や外食行事を通して、公共の場での社会的マナーを習得できるようにしています。						
家族支援		モニタリング面談の後、ご希望者には引き続き相談援助を行います。 随時、日常のお困り事のご相談をオンラインでお受けし、保護者と一緒にタイムリーに解決できるようにしています。 同じ学校に通われている保護者同士、似た障害特性を持つお子さんをお持ちの保護者同士の交流の場、先輩保護者との交流の場を提供し、先を見通した育児や支援が出来るようにしています。				移行支援		小・中・高校等との情報共有や連携をしています。 長期休暇中に、就労支援事業所の見学や就労体験を実施しています。
地域支援・地域連携		相談事業所との情報共有や連携をしています。 地域のお店、公園や児童館でのイベントに出かけ、地域の方々との交流の機会を大切にしています。				職員の質の向上		虐待防止、感染症予防等、定期的な社内研修を実施しています。
主な行事等		個別プログラム、集団プログラム、季節に合わせた行事 保護者会、個別のペアレントトレーニングを実施						